

【別紙様式】

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
49	恵那高等学校

学校教育目標	質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> 生きる知恵をもって社会でリーダーシップを発揮する生徒 自ら問いを立て「探究」する生徒 心に故郷を抱き、世界を見据える生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 質の高い授業と「探究」する学びの提供 社会や自然とつながる多様な学びの場の提供 一人一人が輝き、仲間とつくる感動の場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力と基本的な生活習慣を身に付けた生徒 志をもって自分を伸ばそうとする生徒 大学進学を目指す生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な主な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 教科教育・進路指導の充実	<ol style="list-style-type: none"> ① 高度な教育内容を維持し、リーダーとしての資質を育成します。 <ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間と課題研究を軸に、3年間を見通した探究的な学びを行います。 生徒の大学進学希望を実現できるよう多様な選択科目を展開して授業の質を維持するとともに、放課後自主講座、休日自主講座を充実させます。 ホームルーム活動や多様な課外活動を通して、社会や未来に目を向け、視野を広げる機会を提供します。 進路ノートを活用し、進路選択などキャリア発達支援を行います。 ② 学校及び家庭での学習習慣を確立し、それを継続させるため、次の方策に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> 新入生オリエンテーションを実施します。 集中学習会を実施します。 生徒個々の課題に応じた週末課題を充実させます。（個別最適化） 学習時間調査を実施します。 ③ 生徒自らが学習を計画的・積極的に行うことができるよう指導します。 <ul style="list-style-type: none"> 各教科で3年間を通した指導計画（学習シラバス）を提示するとともに、定期考査、小テスト等の役割を明確にします。 スタディサプリを活用し、生徒に自ら学ぶ姿勢を身に付けさせます。 ④ 生徒の実態や時代の変化に応じた授業研究に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価や教員間の相互授業参観を通して、指導力の向上を図ります。 		<ol style="list-style-type: none"> ① 学校評価アンケート、生徒による授業評価、進路ノート、卒業時アンケートの数値、記述内容 ② 個人面談の内容、進路ノートの記述内容、学習時間調査の数値 ③ 定期考査等の各種テストによる達成度の評価、スタディサプリの活用状況 ④ 生徒による授業評価、5月と11月の授業研究週間における教員相互の授業評価・研究
2 人間教育の充実	<ol style="list-style-type: none"> ① 基本的な生活習慣の確立と定着を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> 「恵那高生の品格」形成の指導を充実します。 ② 社会性の涵養とリーダーの資質の養成をします。 <ul style="list-style-type: none"> 教育活動のあらゆる場面を通して、社会に貢献することができるリーダーとしての指導力を身に付けさせます。 ③ 広く地域から愛され、信頼される、開かれた学校づくりに貢献します。 		<ol style="list-style-type: none"> ① 年4回実施するモラル・マナーアップウィークの状況、事後指導の徹底 ② 校内委員会（半期5回は開催）の活動状況 ③ ボランティア活動の参加状況、HP・学校新聞等による広報の推進
3 教職員の働き方改革	<ol style="list-style-type: none"> ① 勤務時間を意識した働き方を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> 業務内容の見直しを図ります。 勤務時間管理を徹底します。 		<ol style="list-style-type: none"> ① 勤務時間外が月45時間を超える教職員数0、全ての教職員が年休を5日以上取得